

令和 4 年度第 2 回  
涌谷町健康と福祉の丘運営委員会議事録

令和4年度 第2回涌谷町健康と福祉の丘運営委員会 会議録要旨

1. 日時 令和5年2月21日（火）午後2時00分～午後3時30分
2. 場所 町民医療福祉センター 第1会議室
3. 参集者 <委員> 戸田慎治、米谷則美、新田茂樹、高橋俊吾、佐々木富貴代、久道光子  
計6名  
<職員> 遠藤町長、高橋副町長、前沢センター長、その他別添名簿参照  
計16人
4. 概要

1. 開会	<p>それでは定刻となりましたので、只今から令和5年度第2回健康と福祉の丘の運営委員会を開会いたします。開催にあたりまして遠藤町長から挨拶を申し上げます。</p>
2. 挨拶 (町長)	<p>本日は令和5年度第2回目の健康と福祉の丘の運営委員会開催にあたり、大変お忙しい中、ご来席いただきありがとうございます。病院事業管理者につきましては、横井先生に職務代理として頑張っていたいてきたところでございますが、今回、前沢先生にセンター長として赴任していただきまして、今後共に町民医療センター全体を盛り上げていきたいということでございます。</p> <p>また、前回から会議のスタイルを変更し、町民医療福祉センターが抱える様々な問題について皆様方からご意見を賜ればと考えております。</p> <p>早速、新田委員さんからは民間による認定こども園に関わる抜本的な人口減少対策の必要性、戸田委員長からは、町としての教育の全体構想をしっかりと示すべきではないかとのご指摘をいただきました。また高橋委員からは国保病院の在り方につきまして、議会も含めて、しっかりとご議論していくべきとの指摘がございました。米谷委員からは、病院のダウンサイジングに対しまして評価をいただきまして、なおかつ医師確保のために町としての対応のあり方というものも過疎債の財源を付け加えていただきながら今後の医師確保に対して東北医科大学、自治医科大、あるいは東北大学との関係をしっかりとすべきだということをご指摘、ご意見いただいております。また、佐々木委員からは、長く医師が病院にいていただく病院にするために、人材育成についてご指摘いただきました。</p> <p>今回は、センターの基本方針や令和4年度の各事業の状況や令和5年度の重点施策等の説明をいたします。本日も幅広い意見を頂きたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。</p>
(センター長)	<p>町民医療福祉センターのために大変貴重なご意見をいただき議事録等で拝見しました。心から感謝を申し上げます。2月1日に27年ぶりに、戻って参りまして、浦島太郎の状況ではございますけども、少しずつ勉強しながら、本来このセンターが目指したものを現在にどう生かしていくのか、力を振り絞って尽くすことが出来たらと願っております。皆様方のご指導、町民の皆様方の声に、しっかり耳を傾けて、あるべき姿と言うのを創り上げていきたいと思っておりますので、ご指導の方をよろしくお願いいたします。</p>

3. 審議事項	<p>(1) 前回議事録承認及び議事録の公開について・・・【資料1】</p> <p>(2) 令和4年度各事業の状況について・・・【資料2】</p> <p>(3) 令和4年度病院事業、老人保健施設事業、訪問看護ステーション事業の運営状況について・・・【資料3】</p> <p>(4) 涌谷町町民医療福祉センター基本方針について・・・【資料4】</p> <p>(5) 令和5年度主な事業について・・・【資料5】【資料6】</p>
戸田委員長	<p>それでは審議事項の方に入りたいと思います。先ほど町長さんからお話しがありましたように、皆様方から包括的なまちづくりということで、多岐にわたってお話しいただきました。本日は、前沢センター長が就任して初めての委員会でありますので、これからのまちづくり、病院を中心としたまちづくりということで色々ご意見をいただければと思うので、よろしく願います。</p> <p>それでは審議事項に入りたいと思います。前回議事録承認および議事録の方かについて事務局からの説明をお願いしたいと思います。</p> <p>総務管理課 資料1の説明</p>
戸田委員長	<p>ただいま事務局の説明がありましたけれども、これに関しましてご質問等ありますか。確認ですが、この委員会の会議録のホームページの掲載というのは、初めてですか。</p>
木村副センター長	<p>令和3年度については、もう既に公開しておりますが、コロナ禍の中で4回中3回が書面決議でした。1回分だけこの議事録が公開している状況です。</p>
戸田委員長	<p>今回、初めてではなくて、改めてこの委員会での承諾を得たいということですか。</p>
木村副センター長	<p>就任にあたって、前回の会議の開催前にお話ししなかったもので、改めてというところです。</p>
戸田委員長	<p>会議が終わったら、議事録作成しますね。その段階で委員の皆様方に議事録を事前にお渡ししていただいて、確認していただいた方が、次の会議でまた承認を取るより良いと思います。前回の内容が分かるので、非常に良いことだと思いますのでそういった点も改善していただきたいと思います。それでは、本題といいますか、今回の議事録公開について委員の皆さんよろしいですか。</p>
米谷委員	<p>議事録は事前に委員の皆さんにチェックしてもらおうということですね。</p>
木村副センター長	<p>前回の議事録につきましても事前に配布させていただきましたが、今回の議事録についても確認を頂き、修正等の必要があれば事務局の方にお話しいただければと思います。</p>
戸田委員長	<p>それではその他にご意見等はございませんか。この件につきましてはよろしいでしょうか。はい、それではこの件につきましては以上としたいと思います。令和4年度各事業の状況につきましてご説明をお願いしたい。</p>

	健康課、福祉課、子育て支援室 資料2の説明
戸田委員長	只今の令和4年度健康課、福祉課及び子育て支援室の事業状況についての説明がありましたけれども、これに関しまして何かご質問等がありましたら皆様お願いいたします。
新田委員	2つあります。1つ目は住民健診について、先ほど特定健診の受診率は50%くらいとの説明でしたが、全部の受診率を掲示すべきだと思います。社会保険の方もいることから把握は難しいのですか。
健康課 須田技術主幹	特定健診に関しましては、国民健康保険の方が対象ですので、把握は出来ます。各種がん検診に関しましては、社会保険の人も対象となっており、一括申し込みで申し込まない方がいらっしゃるのも事実でございます。
新田委員	各種がん検診は受ける方の数を出すのは難しいのですか。
健康課 須田技術主幹	対象者数を人口数とするか、職場で受ける、医療機関等で受ける人を除いてよいとなっている健康増進法対象者で出すことはできます。ただ、今現在きちんと出るものと出ないものもございますので、申し訳ございません。今後は受診率を提示するようにしてまいります。
新田委員	2点目です。幼稚園、保育所の申し込み状況について、認定こども園の影響によって、さくらんぼこども園が減っているというようなお話を聞いていますが、その内容を報告して頂きたい。
子育て支援室 門田主幹	認定こども園については、現在の小規模保育事業所の22人から48人に増加となっています。影響は、さくらんぼこども園に限っていることではなく、各保育園、幼稚園から移動があります。また、民間の保育園でも利用出来る年齢を1年ずつ上げている園もございます。そういったところで合わせますと若干、町立幼稚園の人数の方が全体的に減り、私立保育園や認定こども園のところで増えているというような状況です。新設のところで増えています、大きな影響があったとは考えておりません。
戸田委員長	今の回答でいいですか、新田委員
新田委員	これだけ新設の認定こども園のところに行けば、絶対影響が出てはるはずだと思います。
子育て支援室 門田主幹	人数で言いますと町立幼稚園は前年比で全体4園での30人程の減にはなっています。保育園、認定こども園に通われるお子さんも20人程の増になっております。
戸田委員長	新田委員のお話のとおり、ある程度、子どもの数が決まっているので、それが分散すれば、やはり減るんですね。大事なのは既存の園と今回、新設される認定こども園の役割分担や将来どのような形にしていこうかというビジョンを示して、地域の方やこのような会議で説明していただければ一番良いと思います、どうでしょうか。
町長	皆さんご存じのように来年4月に創業予定のウエルファムフーズさん

	<p>には、女性の従業員の方が多く、子育て世代の方もいらっしゃるようです。その方々に来て頂くことをイメージしながら幼稚園、あるいは認定こども園を考えております。</p> <p>また、もう1つは町立幼稚園の老朽化の問題がございます。早速に対応しなければいけないところがありますが、様々な状況変化の中で、統合も含めた検討が必要であるだろうと思います。</p>
戸田委員長	<p>子育てにおける現場の状況を心配されてるところなので、毎年、地域の幼稚園、保育所の状況を丁寧に聞き取って頂き、現状をきちんと把握することによって役割や将来の展望とかを決めていく、または意見をもらうという形をとっていただければ良いかなと思います。その他にあればご意見ございませんか。</p>
佐々木委員	<p>涌谷町の町内の幼稚園、保育園をすべて無くし、認定こども園に移る訳ではないですよ。</p>
町長	<p>大切な町民のお子さんを預かり、町の意思が通った適正な保育を行っていく上で、公立の幼稚園、保育園は絶対に必要と考えています。</p>
佐々木委員	<p>子供の出生率がだいぶ減少している中で、先ほど委員長がおっしゃたように、色々な課題を把握し、皆さんで話し合って進めて頂きたいと思います。</p>
町長	<p>その通りだと思います。この会議は、涌谷独自の子育て支援策、人口増加に繋がるような審議、政策に繋がるような意見をどんどん出して頂ければ、大変ありがたいと考えています。</p>
戸田委員長	<p>よろしいですか。その他に何かございませんか。</p>
米谷委員	<p>支え合いマップを作って頂いたんですけども、これは避難行動要支援者名簿とかなり重複すると思いますが、それとは違うものなんですね。</p>
福祉課 佐々木班長	<p>避難行動要支援者名簿とは別のものになります。こちらの数字につきましては、町内の区長さん、民生委員さんから、その地域に住んでいる方の中で避難を必要とする人数を挙げて頂いたものです。</p>
米谷委員	<p>支え合いマップはどこに保管しているのですか。</p>
新田委員	<p>支え合いマップは、区長さんや民生委員が保管しています。</p>
米谷委員	<p>避難行動要支援者名簿というのは完成しているのですか。</p>
福祉課 牛渡再任主査	<p>避難行動要支援者名簿は、国で定められたある一定の基準の名簿ではなくて、要介護認定の方や障害者など、町で把握している情報に基づく名簿です。</p> <p>公表するには本人同士の承諾が必要ですが、なかなか承諾を得られないので、それとは別に支え合いマップで名簿を作成し、区長さん方から生の情報をいただいて、本当に避難行動支援が必要な人を抽出しております。</p>
米谷委員	<p>両方できているんですね。了解しました。</p>

戸田委員長	<p>その他ご質問等ありますでしょうか。</p> <p>例えば、色々な生活困難者の方の重層的な支援をしていますが、例えばヤングケアラーとかそういう方々に関しても、こういう困難事例は必ず出てきますよね。そういった対応はどのような形でやっているんですか。</p>
子育て支援室 工藤主幹	<p>ヤングケアラー、児童虐待の対応ということで子育て支援室の方で対応させて頂いております。現時点で、ちょっと懸念されるケースは何件かありまして、そちらの方については、支援世帯として継続支援を行っているところではあります。</p>
戸田委員長	<p>ヤングケアラーに関しては、一番身近な学校などでは、先生が遠慮して、子供達から情報を得るのは非常に難しいところもあるので、町の方でも協力して対応していただければと思います。</p>
子育て支援室 工藤主幹	<p>それに関しましては、宮城県の方で今年度中にヤングケアラーに関する調査を教育委員会を通して県内の小中学校で実施するという事になっており、その情報を公開していただくということで進めております。</p>
戸田委員長	<p>はい、わかりました。他にご質問ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>はい。この件に関しては以上となります。令和4年度病院事業会計、老人保健施設事業、訪問看護ステーションの運営状況のご説明をお願いします。</p>
	<p>総務管理課 資料3の説明</p>
戸田委員長	<p>ただいま説明していただきましたけれども、ご質問あればお願いしたいと思っております。</p>
新田委員	<p>病院の収支については、若干の黒字の見込みという事ですが、コロナの補助金については、4月以降はなくなるのですか。</p>
木村副センター長	<p>国の方からは、まだ全く情報が流れてこないという状況です。ただし、県の方では今年並みの予算を計上しているという事なので、今後示されると思います。</p>
戸田委員長	<p>その他にご質問等ございますか。</p>
新田委員	<p>負担交付金で3900万円の補正になっていますが内容はなんですか。</p>
総務管理課 戸澤補佐	<p>負担交付金につきましては、一般会計からの繰入金です。</p>
高橋副町長	<p>今回補正して財政再建計画の数字よりはちょっと大きくなりますが、総務省の繰出基準に合致したものです。</p>
戸田委員長	<p>その他に何かございますか。</p>
米谷委員	<p>外来患者が減ったというのは、8～9月にドクター2名の体調不良に</p>

	<p>よる影響による減少というお話しですが、その後はどうなったんでしょうか。</p>
木村副センター長	<p>8月に、2名のドクターが入院加療し、その後、復帰していますが、外来の診察を若干、減らしている状況です。</p>
米谷委員	<p>何科のドクターですか？</p>
木村副センター長	<p>内科です。</p>
米谷委員	<p>ドクターは、戻ったけどパワーダウンしている状況ですね。</p>
木村副センター長	<p>他の先生方で、カバーしている状況です。</p>
戸田委員長	<p>その他ございますか。原油高騰による燃料費の高騰、コロナ禍ということで先が読めない状況で、それぞれが非常に努力をして経営をしているような感じがあります。なかなか先が読めないのは令和5年も似たようなものがありますので、その中である程度コロナ前に近づけていく方策を考えていただければ良いかと思えます。それではこれに関しては以上で終了とさせていただきます。</p> <p>続きまして、涌谷町町民医療福祉センター基本方針について説明をお願いします。</p> <p>センター長 資料4の説明</p>
戸田委員長	<p>ただいま基本方針に関しましては前沢センター長の方からご説明いただきましたけれども、これに関しまして、ご質問等ありますか。</p>
久道委員	<p>令和4年の重点政策は10項目もあり分かりにくい所がありました。令和5年度の重点政策はわかりやすく良いと思えます。方針の中に町内外の医療機関との連携を密にとありますが、最近自分の知っている方で、開業医の先生から石巻赤十字病院を紹介されて、石巻赤十字病院から仙台厚生病院を紹介され、仙台厚生病院で手術を終えて、また石巻赤十字病院に戻った方がいました。病気は治療しましたが、筋力が衰えたためにリハビリのために入院をされる話を聞きました。町内でもリハビリが出来る国保病院がありますが、町外に行かれるというのを聞いて家族も町内で仕事してる方なので、負担も大きいだらうと思った時に、地域連携はどの程度、密にされているのかと思いました。地域連携室の活用っていうのは非常に大事だなぁという気がします。この周辺であれば大崎市民病院、石巻赤十字病院等と国保病院の地域連携の密度が十分されているのかどうか。もし少し薄いのであればそこを強化して頂きたいと思えます。</p>
戸田委員長	<p>久道委員さんから具体的な例でお話しされましたけれども、ある程度、涌谷町の受け皿みたいな形で、1つ1つ当てはめていくと、どこか足りない所があると思えます。そここのところは貴重な意見として、今後、補強して取り組んでいただければと思います。</p>
前沢センター長	<p>2月1日に着任し、就任の挨拶回りで町内開業医、大崎市民病院や石</p>

巻赤十字病院等を訪問した際に厳しいご意見を頂戴しました。患者さんを涌谷へ戻したいという連絡したが、その日に受け入れてもらえなく1週間かかったとか、そういう具体的な例も含めまして、もう少し何とかできないかとなど、様々な意見をいただきました。

また先日、町財政及び病院事業に係る有識者会議があり、この会議でも、町内開業医の先生方、または近くの公立病院と連携が今一つではないかというご意見がありました。地域医療連携室を中心にお願いの仕方、受け止め方をもう少しスムーズにしていかなければならないとつくづく感じました。名案がある訳ではありませんが、連携をスムーズにいくためには、地域医療連携室も大事ですが、医師の意識が非常に重要なので、私の想いとしては内科の中に総合診療を主としてやる研修医等を集め、その連携の設定の部分をきちんとやるような医師を育てていく必要があると考えています。

具体的な例でご意見を頂けると、解決策も見えやすくなると思うますので、よろしく願います。

町長

前沢先生が話されたように一番大事なものは、先日の町財政及び病院事業に係る有識者会議でも指摘されました、町内の開業医の先生としっかりコンタクトを取る事です。以前、米谷先生からしっかりとした信頼関係が無ければ患者を紹介できないと言われた事が、今でも私の中に残っています。それが基本中の基本であると思っていますので、今後は、前沢先生を中心に町内の開業医の先生としっかりとしたコンタクトを取って、連携して欲しいと強く願っています。

米谷委員

我々、紹介する側としては責任がありますので、どのような力量をもった、どのような資格を持った医師がいるのか分からないと紹介に繋がりにくいというところがあります。2月から新しい体制となったのであれば、どのような資格を持った、どのような医師がいるのか等、広報を通じて、我々に伝えていただければと思います。それは総合医を育てるよりずっと早いと思います。

町民医療福祉センターの役割について、妊娠、小児、青年、壮年、老年という流れだと思うんですけども、スタートラインを妊娠前からにした方が良くと思います。子宮頸がん検診の勧奨、子宮がん検診の勧奨、あるいは不妊治療の相談、そういったものをやると、もしかすると人口の増加に繋がるかもしれません。スタートラインを妊娠前に戻し、妊娠前から看取りまでとした方が国策にも合ってるんじゃないかと思って提案させていただきます。

戸田委員長

これは前沢先生への提案ですが、ご検討いただければと思います。その他ご質問ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、令和5年度の主な事業について、資料5の説明をお願いします。

健康課、福祉課、子育て支援室 資料5の説明

戸田委員長

それでは、資料5について、ご質問はないでしょうか。

新田委員

前回の会議でも発言していますが、涌谷町の最大の問題は人口減なんですよ。子供が生まれる前から子育て、それから子育ての親への施策を手厚くしてあげて欲しい。

涌谷町の人口減少が止まらない、増えるのはもう期待できないと思い



	<p>ますので、人口がせめて減らないようにするという施策を進めて欲しい。</p> <p>広報誌を配って歩いてるので分かるんですが、地区のお年寄り、朝からこたつで横になって寝ています。これでは、とても健康に過ごすとは言えないです。朝9時に行くとカーテンが閉まって寝ている。午後に行くと昼寝をしている。これで介護保険等がどんどん上がっていく。</p> <p>自治会で、ラジオ体操をやりましょう、凧あげをやりましょうとやるんですけども、出て来ない方は一切出て来ない。そういうところの取り組みを医療面からも含めて、本当に包括的にやらないと健康なまちづくりというのは難しいと思いますので、ぜひそういう取り組みをお願いしたい。</p>
戸田委員長	<p>包括的、または重層的支援、いわゆる縦割りではなく横並びの考え方は、ある程度これから地域の方にも浸透していくと思います。この委員会で個別の事案に関してのご意見いただいておりますが、それを実現するためには、その1つの分野だけやっても多分、実現しないんですよ。何でもカバーしていくかという新田委員さんのお話のように、横の繋がりでカバーしていく事が大事になります。非常に貴重なご意見ありがとうございます。</p>
戸田委員長	<p>続いて資料6の説明をお願いします。</p> <p>総務管理課 資料6の説明</p>
戸田委員長	<p>只今の説明について、ご質問はないでしょうか。</p>
米谷委員	<p>毎日、外来診察している者としては、絶対ありえないなというのが外来の業務量で1日当たりの患者数が増えている所です。人口が減って、多分1日当たり外来受診者数も減るんです。その上、長期処方増加によって再診料が減るんです。そしてリモートによる診察については、検査が出来ないので、検査料が減るんですね。この外来収益と外来の患者数の増加はあてにならないので、ここを見直した方がいいんじゃないかなと発言させて頂きました。</p>
戸田委員長	<p>只今のご意見に対して回答は要りませんが、そういう内容を吟味していただいた方がいいと思います。現実的な米谷委員のお話のような、ある程度現実的にはこうじゃないかというようなご意見は非常に貴重だと思いますので、その点は一応考慮していただければと思いますので、よろしくをお願いします。その他にございませんか。</p>
木村副センター長	<p>今のご意見について、今回の収支計画はあくまで効果額ということで、原油の高騰、建物の老朽化に対する修繕による経費の増、コロナの状況によっては、外来患者数について変動があるものと思っております。</p> <p>また、給与制度の変更による影響もあることから、この数値からの変動はあると考えています。ここから変動があっても何とか計画に近づけるように頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。</p>
新田委員	<p>経費のところで、光熱水費が令和3年度と同じ金額で入れてありますが、今現在の金額を入れて行かないと駄目ではないか。</p>
木村副センター長	<p>只今、申しあげました通り、その部分についても変動していくと思っております。</p>

戸田委員長	先ほど前沢センター長から、地区の医師会の先生方との連携を強調されておりましたので、こういう数字につきましても、地域の先生方から助言いただいてもいいんじゃないでしょうか。
前沢センター長	はい、今後、町内の先生方と自由に意見を言えるような環境を作っていきたいなと思います。
戸田委員長	よろしく申し上げます。その他にございません。よろしいですか。以上で協議事項を終了いたします。
事務局	それでは戸田委員長ありがとうございました。それでは閉会にあたりまして、副委員長の米谷委員から一言申し上げます。
米谷委員	今日はお疲れ様でした。こういう会議は活性化された話し合いの中でなんとなく見えてくるものが多いんだと思いますので、これからも皆さんじゃんじゃんお話ししてくれると思いますので、どうぞよろしく申し上げます。
事務局	以上を持ちまして委員会を終了したいと思います。ありがとうございました。